

ストラシテム株式会社

環境コスト減、1インチストレッチフィルム製作巻取機の試作開発

太さ3分の1、作業も安全

段ボールなど複数の積み荷を梱包するストレッチフィルム（ラップ）は荷崩れ防止、汚れや水濡れ防止といった機能性の高さから、荷物の外装関係でロープやビニールひもに取って代わりつつある。

包装材料の企画開発に取り組むストラシテム社は、

国内市場200億円とされるこの商品に画期的な改良を加えた。一般にストレッチフィルムは直径3インチ（約7.6センチ）の紙管（紙製の芯）に巻いてあるが、紙管を直径1



右から2番目が1インチ紙管。右端は3インチ紙管で、同じ長さのストレッチフィルムが巻かれている。左は簡易型のホルダーとシャフト付きのホルダー

インチ（約2.5センチ）と3分の1の太さにした。1インチ紙管は使い終わってごみになる紙管の量を9分の1に減らせる上、輸送コストも大幅カットできる。300メートルのフィルムを巻いた1インチ紙管9本入りのケー

スサイズは、同じ量を巻いた3インチ紙管6本入りケースの54%程度にコンパクト化できるからだ。もちろん保管場所も省スペースで済む。

工夫はもう一つ。積み荷をストレッチフィルムで梱包する際、作業員は3インチ紙管の両穴に指を入れた状態でフィルムを引き出すが、1インチ紙管では指が入りづらい。

何とかしようと両穴に差し込むプラスチック製のホルダーを作った。シャフト付きのタイプもあり、穴に差し込んでホルダー部分を持てば紙管が固定され、スムーズにフィルムを引っ張り出せる。手袋もいらず安全に作業できる。同社は、この1インチ紙管でストレッチフィルムを巻く取る機械の開発・製作にも取り組む補助金を充てた。

1インチ紙管を使ったストレッチフィルムは2011年に発売。環境意識の高まりから大手企業の採用が増えている。古市良也代表取締役は「ネットは作業する人の慣れ。環境的にもコスト的にも優れた商品であり、さらにユーザーは増えるはず」と今後の展開に自信を見せる。

■ ストラシテム株式会社

実施場所：さいたま市桜区下大久保1123-1

本社：朝霞市北原2-13-6

代表者：代表取締役 古市良也

設立：1993年12月 資本金：3000万円 従業員数：14人

電話：048 (851) 2661 [実施場所]

モ▶ 本社のある朝霞市で包装材料商社として出発。最初に開発した商品は、新聞古紙を内面に使いクッション性を持たせたりサイクル可能な緩衝袋「ハイクッション」。